

家庭用 室内用

1ドア冷凍庫

JF033HM01

取扱説明書

もくじ

ご利用前に

安全上の注意 ————— 1

各部名称

本体前面・内部 ————— 7
 本体背面 ————— 8
 同梱品 ————— 8

据え付けるときは

据え付け場所について ————— 9
 末永くお使いいただくために ————— 9
 移動・運搬するとき ————— 9
 アース・漏電遮断器について ————— 10

使用方法

はじめに ————— 11
 設置のしかた ————— 11
 食品の保存について ————— 12
 氷のつくり方 ————— 12
 霜取りのしかた ————— 13

お手入れ方法

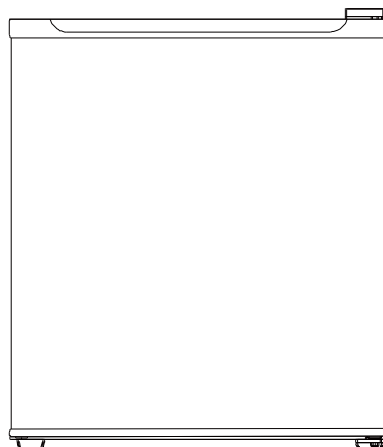
お手入れのしかた ————— 14

お困りのときは

こまったときは ————— 15
 お手入れ後の点検 ————— 16
 運転中の音について ————— 17
 年間消費電量について ————— 17
 製品仕様 ————— 18

アフターサービス

アフターサービス ————— 19
 保証書 ————— 20



この度はMAXZEN製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本製品を安心してお使いいただくために、必ずこの取扱説明書をよくお読みください。この取扱説明書は、大切に保管していただき、不明点がある場合にご活用ください。

この商品は海外ではご使用になれません。
 FOR USE IN JAPAN ONLY.

安全上の注意 必ずお守りください

本製品を正しく安全に使用するためには、本製品を使用して周囲に危険や財産的損害を与えるような重要な事項に注意してください。この製品を使用する前に、「安全上の注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。



この表示の注意事項を守らずに誤った使い方をすると、死亡または重傷を負う危険性があることを示します。



この表示の注意事項を守らずに誤った使い方をすると、傷害または物的損害が発生する危険性があることを示します。



ご確認いただきたい情報を示します。



禁止事項を示します。



分解したり、修理・改造をしない

発火したり異常動作してけがをすることがあります。また、保証対象外となります。



異常などがあるときは使わない

変形、熱を持つ、煙が出る、異音・異臭がするなどの場合に使用を続けると、火災や感電の原因になります。



電源プラグが破損するようなことをしない

ねじる、引っ張る、無理に曲げる、束ねる、加工する、本体で挟み込む、火に近づけるなどしないでください。火災や感電の原因になります。



濡れた手で電源プラグを抜き差ししない

電源プラグを水につけたり、水をかけたりしないでください。感電やけがの原因になります。



長期間使用しないときは電源プラグを抜く

感電や漏電火災の原因となります。



お手入れのとき、金属たわし、みがき粉、ベンジン、ベンゾール、シンナーなどは使わない

変形や故障の原因。火災ややけどの原因になります。



電源プラグを抜くときは、必ずプラグ部分を持って引き抜く

コードの断線、感電やショートによる火災の原因になります。



電源プラグのホコリ等を定期的に取り除く

電源プラグのホコリ等は乾いた布で取り除いてください。汚れたまま使用すると絶縁不良が起こり火災の原因になります。 ※お手入れの際には電源プラグを差込口から必ず抜いてください。



お手入れ・庫内灯を交換する際は電源プラグをコンセントから抜く

火災や感電の原因になります。



表示された電源電圧で使用する

表示された電源電圧以外で使用すると、発熱による火災の原因となります。また、コンセント・配線器具の定格を超える使い方はしないでください。 ※自動車や船舶では使用しないでください。



差込がゆるいコンセントは使用しない

感電や発火の原因になります。



雷が鳴り始めたら電源プラグに触れない

火災や感電の原因となります。



製品やドアに乗ったり、ぶら下がったりしない

ドアが外れたり、本体が倒れてけがをする恐れがあります。また、本体の故障の原因になります。



子供による事故等の防止

- この機器は、安全に責任を負う人の監視又は指示がない限り、補助を必要とする人(子供を含む)が単独で機器を用いることを意図していない。
- この機器で遊ぶことがないように、子供を監視することが望ましい。



製造業者が推薦するもの以外の、霜取りを速めるための機械的な器具、及びその他の手段を用いない

庫内に冷媒が漏れている場合に、接点の火花で発火の恐れがあります。



製造業者が推奨する形式の電気機器以外、食品貯蔵庫内で用いない

冷却回路を傷つけガス漏れ、引火の恐れがあります。



先の尖ったものや、金属製のものでお手入れしない

庫内の破損や機器の故障の原因になります。



脱臭機などの電気製品を庫内に入れない

感電や引火、爆発の恐れがあります。



温度管理が厳しい物を入れない

医薬品や学術試料など、温度管理が厳密に定められているものを保存することはできません。



ガス漏れが発生した場合は、すぐによく換気をする

本体や電源プラグには触れず、窓を開けてよく換気をしてください。換気をせずに使用すると引火爆発し、火災ややけどの原因になります。



可燃性ガスや引火しやすい物を庫内に入れたり、本体の近くで使わない

ガソリン・灯油・シンナーなど引火性のあるものを入れないでください。故障や火災、爆発の原因になります。



本体に水がかかるような使い方をしない

本製品は防水ではありません。浴室や水しぶきのかかるところで使用したり、本体を水で洗ったりしないでください。また、本体の上に花瓶や化粧品、植木鉢、薬品などの液体入り容器を置かないでください。機器内部のショートや発熱により、火災や感電の原因になります。



本体背面の冷却回路を傷つけない

本体背面の冷却回路（配管）には可燃性冷媒を使用しています。傷がつくと感電や引火、爆発の恐れがあります。万が一傷ついた場合は、すぐに窓をあけて換気し、弊社サポートセンターまでご相談ください。



必ずアースを取り付ける

ご使用前に必ずアースを取り付けてください。感電の原因になります。詳しくは本書 10 ページをご覧ください。
湿気の多い場所や水気のある場所に設置する場合は、アース（接地）・漏電遮断器を取りつけてください。
詳しくは本書 10 ページ「アース・漏電遮断器について」をご覧ください。



リサイクル時はドアパッキンを外す

小さなお子さまが庫内に閉じ込められる危険があります。



地震等による転倒防止の処置をする

地震による振動等により本体が倒れ、けがの原因になります。



冷却回路（配管）を傷付けない

可燃性冷媒を使用しているので、冷媒が漏れると発火、爆発の原因。冷却回路（配管）を傷付けたときは、火気を避け窓を開けて換気し、販売店にご相談ください。



ドアを強く開閉しない

食品の落下でケガの原因になります。



他の人がさわっているときは、開け閉めしない

ケガの原因になります。



注意



ご確認ください情報
を示します。



禁止事項を示します。



必ず守る

ドアの開閉時に指などを挟まないように気をつける



禁止

本体を倒したり、本体に強い衝撃を与えない

本体を倒したり、たたくなどの衝撃を与えないでください。故障や思わぬ事故につながる恐れがあります。



禁止

高温になる場所に設置しない

直射日光が当たる場所や暖房機器の近くには設置しないでください。故障の原因になります。



禁止

火気の近くに設置しない

本体はプラスチックが使用されているため、火が燃え移ると火災の原因になります。



禁止

不安定な場所に設置しない

製品が斜めになる場所などには設置しないでください。機器が落ちたり倒れてけがをするおそれがあります。



必ず守る

排水口をふさがない

故障や火災の原因になります。



禁止

金属物などの異物を入れない

機器内部のショートや発熱により火災や感電の原因になります。



移動の際は必ず二人以上で本体を持ち上げて移動する

- 本体を引きずると床を傷つける恐れがあります。傷つきやすい床に設置する場合は保護用の板などを敷いてください。
- 移動するときは二人以上で背面上部と下部前脚を持ってください。他のところを持つと手が滑ってけがをする恐れがあります。
- 本体底面に手や足を入れないでください。鉄板の底面でけがをする恐れがあります。



本体背面の機器部分に触れない

圧縮機等が高温になるため、やけどの恐れがあります。



食品を棚より前に出さない

ビン類などが引っ掛かって落下し、けがをすることがあります。



製氷室にビン類を入れない

中身が凍って膨張し、容器が割れてけがをすることがあります。



製氷室のものを濡れた手で触らない(特に金属の容器)

ぬれた手で触れるとくっついて凍傷の原因になります。くっついてしまったときは、水をかけてはがすか、流水で洗い流してください。凍傷と思われるときは、ただちに医師の診断を受けてください。



異臭・変色している食品は口に入れない

食中毒になる恐れがあります。異臭や変色の食品は腐敗している恐れがあります。口に入れると食中毒や体調を崩す恐れがあります。



後ろ側下部の機械部分（圧縮機など）に、手を触れない

運転中・運転停止直後は高温のため、やけどの原因になります。



電気冷蔵庫本体底面に手をいれない。

清掃するとき、底面に手を入れると鉄板の端面などで手を切る原因になります。

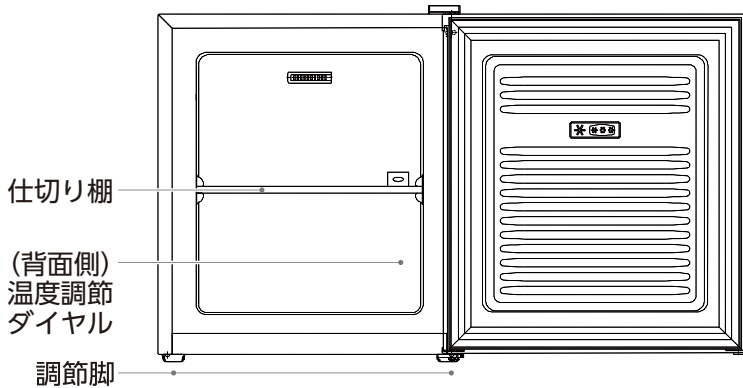


タコ足配線をしない。

定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

各部名称

本体前面・内部



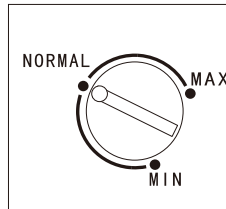
※イメージ



仕切り棚をセットするときは
仕切り棚の突起が奥になる向きで、
溝にあわせてスライドします。

温度調節ダイヤル

庫内の食品の量やお好みにより、
調節してお使いください。
マイナスドライバーを使って
回してください。

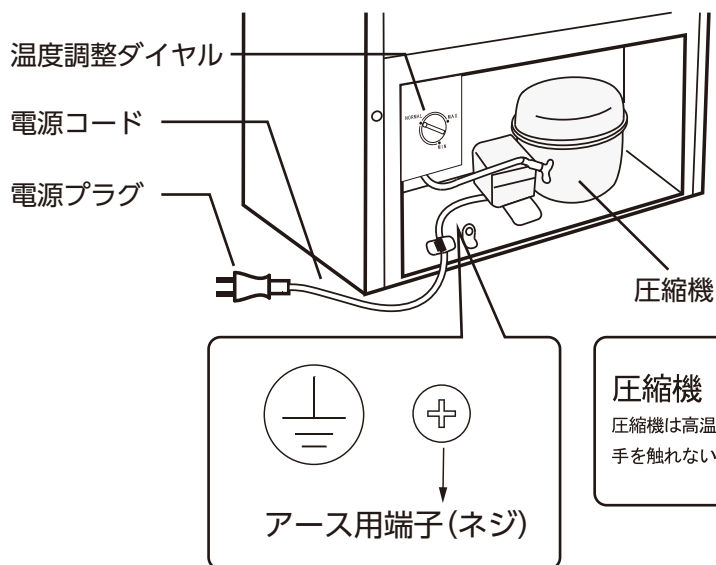


ダイヤル位置	使用例	冷凍室
MIN	冷えすぎるとき	約 -14~-18℃
NORMAL	通常のとき	約 -18
MAX	食品が多いとき 食料品が多いときや夏季など、 周囲温度の高いとき	約 -18~-24℃

- ◆ 各表示は、周辺温度30℃において食品をいれずにドアを閉じて温度が安定したときの値です。※設置環境により多少の差が生じます。
- ◆ 水分が多い食品は、棚の奥に入れると凍りやすいので棚の手前に入れてください。

本体背面

本体背面に接続されている線は絶対に外さないでください



圧縮機

圧縮機は高温になりますので、手を触れないでください。



同梱品



取扱説明書(保証書付き)

仕切り棚

据え付けるときには

据え付け場所について

床が丈夫で水平なところ

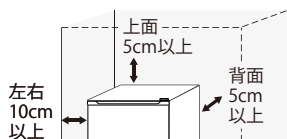
- 不安定な据え付けは、振動や騒音の原因になりますので 床が丈夫で水平なところに据え付けてください。
- 熱による変色防止のため、じゅうたん、たたみ、塩化ビニル製の床材には、下に丈夫な板を敷いてください。

風通しのよいところ

- 右図のように電気冷蔵庫の周囲にすき間をあけて、放熱をよくしてください。放熱がわるいと冷却力が弱まり、電気代のムダになります。

熱気・湿気の少ないところ

- 直射日光があたるところ、発熱器具(コンロ、ストーブなど)の近くは冷却力が低下します。



調節脚

矢印方向へ回すと前上がりになります。
※ 調節脚は左右異なった形状となっていますが、調節方法は同じです。



注意

サビやすい場所に設置した場合

腐食性ガスが発生しやすい温泉地や工業地帯、塩分の多い海岸地帯などでは、配管パイプが腐食し、冷えなくなることがあります。

末永くお使いいただくために

庫内に入れる物に水滴や汚れがついている場合は、あらかじめ拭き取ってから入れてください。乾燥しやすいものにおいが移りやすいものは、密閉容器に入れるなどしてください。冷気の流れをよくするために、庫内に適当な隙間を開けてください。本体には、傷汚れを防止するビニールコーティングが施されている部分があります。

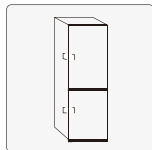
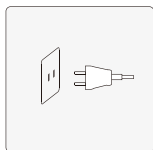
移動・運搬するとき

移動・運搬の前に

必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

食品を取り出してください。

ドアが開かないようにテープ等でしっかり固定してください。



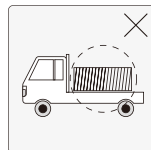
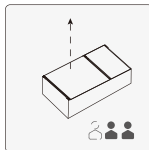
移動・運搬するとき

安全上、必ず二人以上で運搬してください。

ドアを上向きに、背面上部と下部前脚を持ってください。

車などで運搬する際は横積みにはしないでください。

圧縮機の故障の原因になります。



お願い

- ① 物を詰め込みすぎないように注意してください。
- ① 周囲の温度が高温になる場合は、庫内が冷えないことがあります。
- ① なるべく涼しい場所でお使いください。
- ① 梅雨などで湿度が高くなると結露が発生することがありますが、自然現象ですので異常ではありません。結露はこまめにふき取ってください。

- ① ドアは必ずしっかり閉めてください。
冷気が逃げて、冷蔵機能が正常に動きません。
- ① この製品は一般家庭用です。業務用には使用できません。

アース・漏電遮断器について

より安全に安心してご利用いただくために

■感電事故防止のため、本体背面のアース線をコンセントのアース端子に取り付けます。

- ①アース線先端の被服を矢印の方向へ引っ張り、芯線をむき出しにします。

芯線を傷つけないようにお気をつけください。

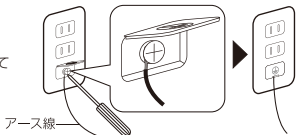


- ②コンセントのアース端子に取り付けます。

アースを取り付けないで使用すると、故障や漏電、感電の原因となります。
設置場所を移動する際にも、必ずアースの取り付けを行ってください。

カバー付きタイプ

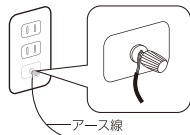
- ①カバーを開けます。
- ②ドライバーでネジをゆるめて芯線を巻き付けます。
- ③ドライバーでネジをしめてカバーを閉じます。



・アース線は別売りです。

つまみタイプ

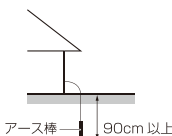
- ①つまみをゆるめて芯線を巻き付けます。
- ②つまみをしめます。



■アース付きのコンセントが無い場合や湿気が多い場所に設置する場合は
お買い上げの販売店または電気工事店へ、アース工事(D種設置工事・有料)をご依頼ください。

■次の場所へは絶対にアースを接続しないでください。

- ・ガス管…爆発や引火の可能性があります。
- ・水道管…プラスチックの部分があるため、アースの効果がありません。
- ・避雷針や電話のアース線…落雷の時に大電流が流れる為大変危険です。



アース付きコンセントが無い場合 / 湿気が多い場所に設置する場合

湿気が多い場所へ市販のアース棒を打ち込む工事(D種接地工事)を行う必要があります。

湿気が多い場所の一例

土間

コンクリート床

貯蔵庫

水滴が飛び散る場所

地下室のように結露がおきやすい場所

お願い

- ❶ 次の場所へは絶対に接続しないでください。

- ガス管…爆発や引火の可能性があります。
- 水道管…プラスチックの部分があるため、アースの効果がありません。
- 避雷針や電話のアース線…落雷のときに大電流が流れるため、大変危険です。

- ❷ 湿気が多い場所や水気のある場所に設置する場合は、お買い上げの販売店にご相談いただき、必ずD種接地工事を行ってください。

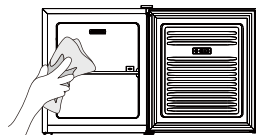
- ❸ 湿気が多い場所や水気のある場所に設置する場合は、アース以外に「漏電遮断器」を取り付けることが義務付けられています。詳しくはお買い上げの販売店にご相談いただき、必ずD種接地工事を行ってください。

使用方法

はじめに

庫内を一度掃除してください

はじめて使用するときは、庫内の器具固定用テープ等をすべて取り除き、やわらかい布で拭いてください。付属品はすべて水洗いし、水分を十分にふき取ってからセットしてください。



設置のしかた

① 設置する

設置の方法について本書 9 ページ「据え付けるときには」をご覧ください。
本体を水平に置いて固定してください。

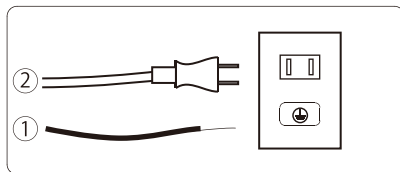
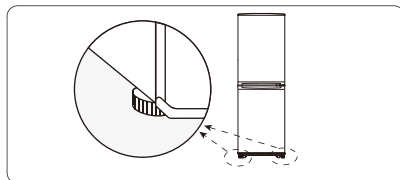
② 固定する

本体底面の調節脚を回して高さを調節してください。調節脚は前側2箇所のみです。後側は調節できません。

③ 冷媒が安定するまで約4時間待つ

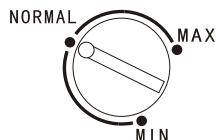
④ アースと電源プラグを差し込む

必ず①アース②電源プラグの順に差し込んでください。
アースの取り付けについては本書 10 ページ「アース・漏電遮断器について」をご覧ください。
このとき電源コードをはさみこまないようにしてください。



⑤ 温度調節ダイヤルを「NORMAL」まで回し、庫内が冷えてから食品を入れる

庫内が冷えるまでには約24時間ほどかかります。お使いの環境によって、冷えるまでの時間に差があります。また、ドアを開閉しすぎると庫内が冷えにくくなりますのでご注意ください。



お願い 電源プラグを抜いたときは、すぐ差し込まずに6分以上待ってから差し込んでください。

食品の保存について

■ 庫内にすき間をあける

食品等を詰め込みすぎると、冷気の循環を妨げ冷えにくくなります。余裕をもって保存してください。

■ ラップや密閉容器に入れる

果物や野菜、においの強いものは必ずラップや密閉容器に入れて保存してください。特に柑橘類は成分によりプラスチック部分が変質したり、他の食品ににおい移りすることがありますのでご注意ください。

■ 熱いものは冷まして入れる

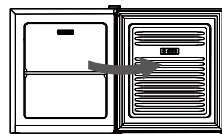
食品などを熱いまま庫内に入れると、庫内の温度が上がり他の食品にも影響を与えます。十分に冷ましてから保存してください。

■ 塩気のあるものは直接庫内に触れないようにする

塩気のあるものはラップやポリ袋、密閉容器に入れて保存してください。塩分が庫内を腐食させる恐れがあります。

■ ドアの開閉は、手際よくしてください。

ドアを長い間開けたままにすると 冷気が逃げてしまいます。



霜取りのしかた

製氷室やその周辺に霜が1cmほどついたら霜取りをしてください。霜がついたまま放置すると冷却に時間がかかるなど、効率の良い運転ができなくなります。

① 庫内の食品とバスケットを取り出します。

※取り出した食品は他の冷蔵庫の冷凍庫等に移してください。

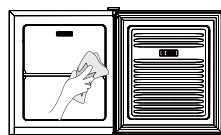
② 電源プラグを抜き、ドアを開放する

庫内の温度を上げしばらく時間が経過した後、霜がやわらかくなったら市販の霜取り用ヘラで霜をとります。

霜取り用ヘラ
絶対に強くこすらないでください。無理に霜を取り除くと、傷や故障の原因になります。

③ 霜を取り終えたら水分を拭く

庫内・製氷室内の水分をよくふき取ってください。



④ 庫内を冷やし、食品を入れる

電源プラグをコンセントに差し込んで、ドアを閉めてください。冷却運転を開始します。冷凍庫内が十分冷えてから、取り出した食品を入れてください。

⚠ 霜取りをする際のご注意

- 水やお湯をかけての霜取りはしないでください。電気部分の絶縁が悪くなり、感電や焼損の危険があります。
- キリ、ナイフやドライバーなどで冷却器の霜や氷をとることは、絶対にしないでください。冷却器に傷がつき、故障の原因になります。この場合の故障は、無償修理期間中でも有料となります。

⚠ **警告** 霜取りのとき、キリ、ナイフやドライバーなどを使用しないでください。冷却器を傷めガスもれのおそれがあります。

お手入れのしかた

！ お手入れのご注意

お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

- ◆ 台所用中性洗剤以外の洗剤は使用しないでください。シンナー・ベンジン・アルコールは使用しないでください
- ◆ 40℃以上のお湯でお手入れをしないでください。

本体表面・庫内・パッキン

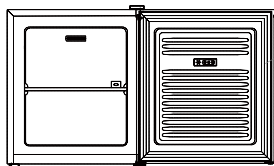
水またはぬるま湯をふくんだやわらかい布をかたく絞り、汚れをふき取ってください。汚れが落ちない場合は、薄めた中性洗剤を含んだ布で拭いたあと、洗剤が残らないようによく水拭きしてください。

- ◆ 汚れを放置すると、割れたり変色したりなどの製品劣化を招く原因になります。こまめに汚れをふき取ってください。

汚れがたまりやすい場所

庫内の底

仕切り棚の溝

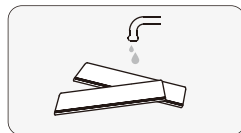


- ドアパッキンについた汚れは早めに拭き取ってください。放置するとパッキンの破損や冷気が漏れる原因になります。

仕切り棚

棚類 など

水洗い可能です。洗ったあとは水分をよくふき取ってから庫内に戻してください。



こまったときは

故障かな?と思ったときは、下記の項目をもう一度チェックしてください。また、一度本体の電源プラグを抜き差ししてから、再度起動してみてください。それでも正常に作動しない場合は、マクスゼンテクニカルセンターにご連絡ください。(各項目の詳細は、この説明書の対応する項目をお読みください)

症状	考えられる原因・確認事項
電源が入らない	電源プラグはコンセントに差し込まれていますか?電源プラグをコンセントにしっかりと差し込んでください。
庫内が冷えるまでに時間がかかるまたは冷えずがる	● 温度調節つまみは適正な位置になっていますか? → 本書7ページ「温度調節つまみ」を参考にして、お使いの環境に合わせて調節してください。 ● 庫内に物を詰め込みすぎではありませんか? → 庫内に冷気が流れるよう、隙間を開けて入れてください。 ● 本体背面の圧縮機周辺をふさいでいませんか? → 熱がこもって危険です、本体背面は絶対にふさがないでください。 ● ドアを開閉しすぎていませんか? → 冷気が逃げますので、ドアの開け閉めをしすぎないでください。 ● 周囲の温度が高すぎませんか? → 周辺温度を35℃以下の場所でお使いください。 ● 直射日光が当たる場所や、ストーブや熱器具の近くに設置していませんか? → 直射日光が当たらない場所や、熱器具の影響が無い場所に設置してください。 ● 食品が熱い状態で庫内に入れていませんか? → 食品が冷めてから庫内に入れてください。
音が気になる	液体が漏れるような音(チョロチョロ、シューシュー等)ではありませんか? → 冷蔵庫を冷やすための液体の音です。異常ではありません。 冷蔵庫の周囲や上にあるお盆、容器などがビビリ音を出していませんか? → ビビリ音を発しているものを取り除いてください。
本体が熱くなる	放熱パイプが内蔵されているため、本体の表面や側面が熱くなることがありますが異常ではありません。使いはじめや夏場は特に熱くなることがあります。
本体がガタガタする	安定な場所に設置していますか? → 平らな場所に設置し、調節脚で高さを調整してください。
電気冷蔵庫の食品が凍結する	冷却器内や冷却器の近くに、水気の多い食品(豆腐・葉野菜など)やビン・缶を置いていませんか?冷却器内や冷却器の近くは、水気の多い食品が凍るおそれがあり、ビン・缶は凍って破裂するおそれがあります。
電気冷蔵庫の外側に露がつく凍結する	梅雨時など湿度が高いとき、外側に露がつくことがあります。これは冷水を入れたコップのまわりに水滴がつくのと同じです。露は、布で拭き取ってください。

お手入れ後の点検

- 電源コードに、亀裂やすりきずがありませんか？
- 電源プラグがコンセントにしっかり差し込まれていますか？
- 電源プラグに異常な発熱はありませんか？
- 電源プラグの刃及び刃の取付け面にホコリが付着していませんか？

注意

圧縮機や配管に手を触れないでください。運転中や停止直後の圧縮機や配管は、高温になっていますのでやけどやケガのおそれがあります。

！おことわり

- 使いはじめはドアを開けた時、構造材などの臭いがすることがありますが、ご使用するにしがいい消えますので、そのままお使いください。
- 本体の側面及び背面などが熱くなることがあります。これは放熱パイプを内蔵し、露付きを防止しているためです。使いはじめや夏場は特に熱くなりますが、異常ではありません。
- 使いはじめや起動時は圧縮機の音が若干大きくなります。

知っておいていただきたいこと

長期間使用しないとき

- 庫内を清掃した後、2~3日間ドアを開けて乾燥させてください。
(カビやにおいを防ぐためです。)

停電のとき

- ドアの開閉を少なくしてください。また、新たな食品の保存を控えてください。

転居のとき

- 故障の原因となりますので、横積みはしないでください。
- この電気冷蔵庫は50/60ヘルツ共用ですので、周波数の切り換えは必要ありません。

一度抜いた電源は すぐに差し込まない

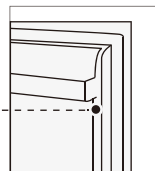
- 圧縮機に負担がかかり、故障の原因になります。
すぐ差し込まずに6分以上待ってから差し込んでください。

不良ではありません

※ 次のものは生産上の不良ではありません。安心してお使いください。

- プラスチック部品の割れや傷のようなスジ
部品成型時に注入された樹脂材料の合流箇所や、金型の接合部です。割れに至ることはありません。

空気抜き穴(数箇所あります)



- ドア内側の小さな穴。
ドアの断熱材発泡工程において内部空気を抜くために設けられた穴です。

運転中の音について

- 運転中には次のような動作音がします。

設置場所や設置環境によっては、音が大きく聞こえることがありますが、異常ではございません。

「ポコポコ」 「ビチビチ」など	▶	冷却装置内を流れる冷媒(ガス)の音です。
「シャリシャリ」 「キーン」など	▶	圧縮機が動作する音です。運転開始時や夏場は音が大きくなります。
「ビシッ」 「バシッ」など	▶	温度変化により、庫内が収縮、膨張をくり返すためです。

年間消費電力量について

- ◆ 製品の仕様、およびデザインは改良のため予告なしに変更することがあります。
- ◆ 年間消費電力量は、日本工業規格JISC9801(2015年版)に定められた測定方法と計算方法において得られた数値を表示しています。
- ◆ 消費電力量は、JISC9801-3:2015に基づいて表示しております。
実際にお使いになるときの消費電力量は、周囲温度や湿度、ドアの開閉頻度、新しく入れた食品の温度や量などによって変化しますので目安としてください。
- ◆ 定格内容積は、日本工業規格JISC9801-3:2015に基づき、庫内の温度制御に必要なでない部品(棚やケースなど)をはずした状態で算出しています。

製品仕様

品名	1 ドア冷凍庫 33L
品番	JF033HM01WH/GR
外形寸法	W440×D470×H515mm
重量	15kg
定格内容積	33L (冷凍室：33L)
電圧	100V～(50/60Hz)
定格消費電力	55W/60W (50/60Hz)
年間消費電力量	119kWh/ 年 (50/60Hz 共通)
駆動音	27dB ※コンプレッサー動作安定時
電源コード長	約 1.9m
冷却方式	直冷式 (庫内温度調節つまみ付き)
冷凍庫の記号	フォースター 
冷媒	ノンフロン R600a
使用環境	周辺温度：5～35℃、周辺湿度：20%～80% (結露なきこと)
製造国	中国
同梱品	仕切り棚、取扱説明書 (保証書付き)
梱包寸法	W460×D490×H528mm
梱包重量	16.5kg

電気冷蔵庫を廃棄するとき

- 扉が密閉できないように、ドアパッキンをはずしてください。また、幼児が遊ぶところには放置しないでください。幼児が閉じこめられると危険です。
- 2001年4月施行の家電リサイクル法ではお客様がご使用済みの電気冷蔵庫を廃棄する場合は、収集・運搬料金と再商品化等料金をお支払いいただき、対象品を販売店や市町村に適正に引き渡すことが求められています。

アフターサービス

基本的な取り扱い方法、故障と思われる場合のご確認

ホームページ上にも情報を掲載しておりますのでご覧ください。

www.maxzen.jp

故障と思われる場合のご相談について

この取扱説明書内にあります「故障かな?と思ったら」の内容や上記ホームページをチェックしても問題が解決できない場合、まず電源プラグを抜いてお買い上げの販売店もしくはマクスゼンテクニカルセンターまでご連絡ください。

マクスゼンテクニカルセンター TEL:0570-099-455

mail : mtc@maxzen.jp 受付時間：平日9:00～17:00 月曜～金曜日（祝日を除く）

○お客様からご提供いただいた個人情報、修理やご相談への回答、カタログ発送などの情報提供に利用いたします。
○利用目的の範囲内で、当該製品に関連するグループ会社や協力会社にお客様の個人情報を提供する場合があります。

修理について

当社では原則的に出張修理を行っておりません。
センドバック修理となりますので予めご了承ください。

部品について

修理のために取り外した部品は、特段のお申し出がない限り
当社で引き取らせて頂きます。また、修理の際、当社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。

修理を依頼されるときは

保証期間中は

修理に関しては保証書をご覧ください。保証書の規定に従って販売店もしくはマクスゼンテクニカルセンターが修理をさせていただきます。

保証期間が過ぎているとき

修理をすれば使用出来ると思われる場合には、ご希望によって有料で修理させていただきます。

修理料金について

修理料金は、技術料・部品代・製品の送料などで構成されています。当社では原則的に出張修理は行っておりません。

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。
送料	製品を修理会社まで運搬するための費用です。

廃棄時にご注意願います。 家電リサイクル法では、ご使用済の液晶テレビを廃棄する場合は、収集・運搬料金、再商品化等料金（リサイクル料金）をお支払いの上、対象品を販売店や市町村に適正に引き渡すことが求められています。



愛情点検

長年ご使用のテレビの点検をぜひ！ 熱、湿気、ホコリなどの影響や、使用の度合いによって部品が劣化し、故障したり、ときには安全性を損なって事故につながることもあります。

ご使用の際
このような症状は
ありませんか？

- 電源コードや本体などが異常に熱い
- 電源コードに深い傷や変形がある
- 焦げくさいにおいがする
- 本体に触れるとビリビリと電気を感ずる
- その他の異常・故障がある

▶
ご使用
中止

このような場合、故障や事故防止のため、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、必ずお買い上げの販売店に点検・修理をご相談ください。ご自分での修理は危険ですので、絶対にしないでください。

保証書

- 保証期間はご購入日から1年間です。保証対象は機器本体のみです。
(保証期間中でも有料修理になることがありますので、保証規定をよくお読みください)
- 保証期間中は保証規定に従い無料修理いたします。
- 保証期間が過ぎている時はご購入の販売店又はマクスゼンテクニカルセンターにご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はご要望により有料修理いたします。

保証書			
製品名	1 ドア 冷凍庫		ご購入履歴を印刷いただき本書と一緒に保管してください 保証書のお買い上げ日については商品出荷日となります 保証書は再発行いたしませんので、紛失しないように大切に保管してください
製品型番	JF033HM01WH/GR		
お買い上げ日	年 月 日		
故障の状況	できるだけ具体的に		
接続している機器			
お名前			販売店
ご住所			
電話番号			

保証規定

- 1.修理はご購入の販売店又はマクスゼンテクニカルセンターに必ず製品本体と保証書を提示の上、ご相談ください。
- 2.ご贈答、ご転居の際は、ご購入の販売店又はマクスゼンテクニカルセンターに必ず製品本体と保証書を提示の上、ご相談ください。また、保証書には、ご購入履歴を印刷いただき一緒にご提示ください。
- 3.次のような場合、保証中でも有料修理になります。

- ・火災、塩害、ガス害、地震、風水害、落雷等の天災地変による故障や損傷。
- ・指定以外の電圧を加えたことによる故障や損傷。
- ・ご購入後の落下、移動等運送上の破損及び取り付け時の破損や損傷。
- ・保証書の提示がない場合。
- ・保証書にお客様名、ご購入日、販売店名の記入がない、又は字句を書き換えられた場合。
- ・一般家庭用以外での業務用に使われた場合(本製品は一般家庭用であり業務用ではありません)
- ・使用上の誤り、及び不当な修理や改造による故障および損傷。
- ・不具合の原因が本製品以外(外部要因)による場合。
- ・車両、船舶等に搭載された場合に生ずる故障および損傷。
- ・オークション、フリマサイト、中古販売にて購入された商品の場合
- ・離島又は離島に準ずる遠隔地へ引取修理を行う場合の送料。

- 4.本書は日本国内においてのみ有効です。(This warranty is valid only in japan.)
- 5 保証書は再発行いたしませんので 大切に保管してください

memo

memo

MAXZEN

マクスゼン株式会社

マクスゼンテクニカルセンター

受付時間9:00-17:00(土・日・祝日・夏季・年末年始を除く)

TEL:0570-099-455

mail : mtc@maxzen.jp

○本製品には、保証書が付いています。ご購入の販売店名、ご購入年月日のご記入なきものは、無効となりますので必ずご確認ください。

○本製品ならびに本書は、改善のために予告なく変更する場合があります。

○本書の内容の一部または全部の無断転載を禁じます。

○本製品の使用・故障によって生じた、直接・間接の損害については、弊社はその責任を負わないものとします。

●乱丁本・落丁本の場合はお取り替えいたします。販売店、またはテクニカルセンターにご連絡ください。

Copyright ©MAXZEN,Inc All Rights Reserved.